

# 鏡川流域パートナーシップだより No.82 R5.9.6



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 「企画のつくりかたの学校『鏡川で遊びのデザイン力を育もう』を開催しました！」



鏡川流域関係人口講座の第3期にあたる「かがみがわフェスタ」では、開催期間を含む約4カ月間で、地域情報の編集などを行うための講座を開催します。

9月1日(金)・2日(土)には、鏡川流域内関係人口講座として、「企画のつくりかたの学校『鏡川で遊びのデザイン力を育もう』」を開催し、鏡川上流域でのフィールドワークなどを通して「遊びのデザイン力」を学びました。

1日(金)はKochi Startup BASEにて実施。テントが設置されたコミュニティスペースに、大学生や中学教員など約15名が集まり、ゆるやかな雰囲気アイデアを出し合いました。ホスト講師の土肥潤也さん(ファッションデザイナー、「みんなの図書館さんかく」館長など)の進行で、ゲスト講師の山本堪さん(NPO法人土佐山アカデミー理事)から鏡川流域での活動や川遊びについてのお話を、野崎浩平さん(現役教員、Kochi Startup BASEの運営主体)から子どもの遊びと学びについてのお話をそれぞれ伺いました。



2日(土)は、鏡川上流域を訪れ、鏡川流域での遊びの体験プログラムを考えました！

鏡川源流憩いの広場(土佐山高川)では、小石を川に投げて飛距離を競ったり、木の実や小枝を拾って集めたり、砂に文字を書いたり、子どもに戻ったような気持ちで、それぞれが自由に川遊びを楽しみました！地元の釣り名人が釣り糸を垂らして3秒でアマゴやカワムツを釣る姿には歓声が上がりました！



鏡川流域内関係人口講座1期生の林明保さんにご協力いただき、まちのコイン「ぼっちり」のスポットでもある土佐山桑尾沈下橋と古民家にも訪問しました。イスに座って沈下橋から鏡川を眺めながら、川での過ごし方や遊び方のアイデアを考えました。考えたアイデアは参加者同士で共有し合い、実現に向け、役割分担や今後の展開などを話し合いました！今すぐ実現できそうな体験プログラムのアイデアも多数！今後も参加者同士でプログラムのブラッシュアップを行いながら、「かがみがわフェスタ」に向けて準備を進めていく予定です。鏡川流域で生まれる新たな人と人とのつながりをとても楽しみにしています♪



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android